

富山高等専門学校	開講年度	令和03年度(2021年度)	授業科目	哲学Ⅱ			
科目基礎情報							
科目番号	0119	科目区分	一般 / 選択				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1				
開設学科	国際ビジネス学科	対象学年	4				
開設期	後期	週時間数	1				
教科書/教材	教科書は使用しません。プリントを配布します。						
担当教員	村中 達矢						
到達目標							
○生命倫理学を学ぶことを通して道徳的な判断力を身につける。 ○文章で的確に表現する力を養う。							
ルーブリック							
評価項目1	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)				
評価項目2	生命倫理学を学ぶことを通して道徳的な判断力を非常によく身につけている。	生命倫理学を学ぶことを通して道徳的な判断力を身につけている。	生命倫理学を学ぶことを通して道徳的な判断力を身につけていない。				
評価項目2	文章で的確に表現する力を非常によく養っている。	文章で的確に表現する力を養っている。	文章で的確に表現する力を養っていない。				
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	生命倫理をめぐって現代哲学でどういう議論が行われているのかを概観する。						
授業の進め方・方法	講義を中心とする。						
注意点	学生の理解度や関心度に応じて授業計画を適宜、変更する場合がある。成績評価は期末試験によって行う。 本科目では、60点以上の評価で単位を認定する。 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とする。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業				
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	ガイダンス、ロバート・ヴィーチによる医師と患者の関係の四分類				
		2週	生命倫理学においてトム・ビーチャムとジェイムズ・チルドレスが提示した四つの基本原理				
		3週	インフォームド・コンセント（十分な説明を受けた上での同意）の倫理				
		4週	生命の尊厳（SOL）を重要視する立場と生活の質（QOL）を重要視する立場				
		5週	生殖技術の倫理				
		6週	出生前診断の倫理				
		7週	遺伝子診断の倫理				
		8週	クローン技術の倫理				
	4thQ	9週	人工妊娠中絶と優生学				
		10週	人体実験とヘルシンキ宣言				
		11週	脳死と植物状態				
		12週	臓器移植の倫理				
		13週	終末期医療（ターミナル・ケア）の倫理				
		14週	安楽死・尊厳死とリビング・ウィル				
		15週	期末試験				
		16週	期末試験の解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---